

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 多施設前向き観察研究(ILO-1805)のデータを用いた術後遷延性気漏に対する胸膜癒着術の実態調査、及び治療効果の探索研究
	研究の対象 2018年9月～2020年5月までの期間に通常診療により臨床的に肺内腫瘍性病変と診断され、根治目的に肺切除術（部分切除，区域切除，肺葉切除および2葉切除）を施行された患者さんが「肺切除後気漏に対するドレーン管理法の多施設共同前向き観察研究（ILO 1805）」に登録された。 このうち胸膜癒着術を施行した患者さんを研究対象とする。
	研究の目的 肺切除後の気漏に対して胸膜癒着術が行われるが、使用する薬剤やその効果については明らかになっていないことが多い。 多機関の観察研究データを用いて、術後の気漏に対する胸膜癒着術の実態、及びその治療効果を調査することが本研究の目的です。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から(西暦)2023年12月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 各研究機関から研究事務局（帝京大学）へデータが集約されます。提供方法は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、各研究機関の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。
利用し、又は	研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目</p>	<p>カルテからの情報：病歴、術式、気腫の状況、胸膜癒着術の有無、胸膜癒着術に使用した薬剤、胸膜癒着術の効果 等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 外科学第一講座 川瀬晃和</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 外科学第一講座 川瀬晃和</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>共同研究機関においては、適宜自機関の連絡先をご記載ください</p> <p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

部署名： 外科学第一講座

担当者： 川瀬晃和

TEL： 053-435-2276

E-mail： akawase@hama-med.ac.jp